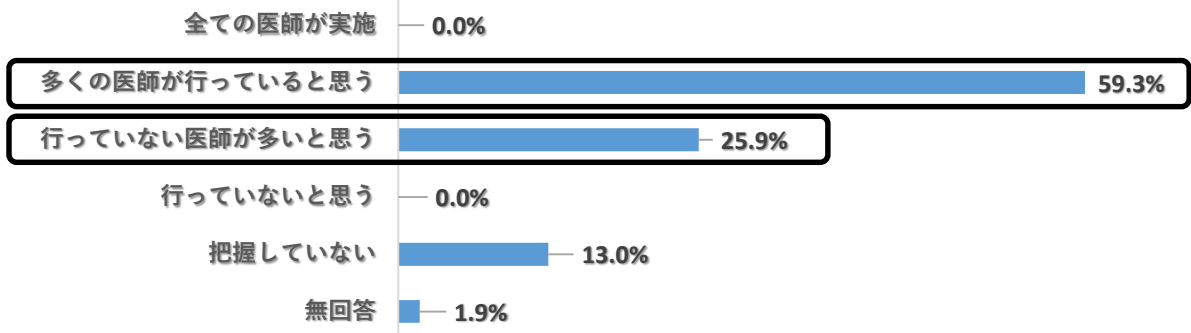
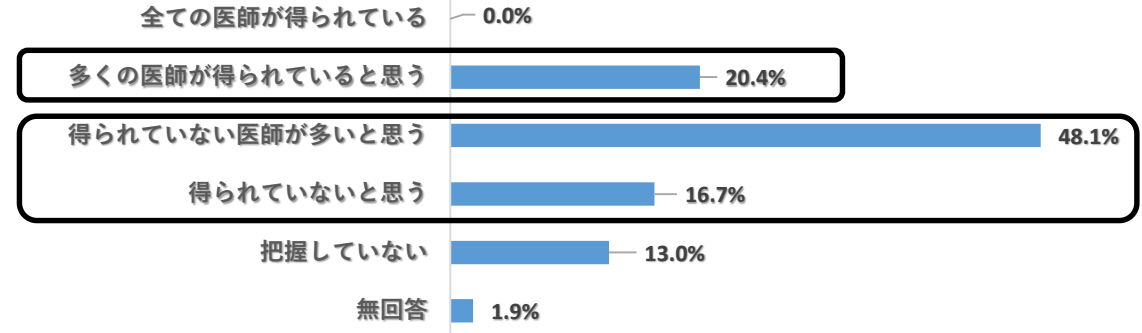


⑤ 【病院調査】 患者の就労状況や就労継続の意向の確認 N=54



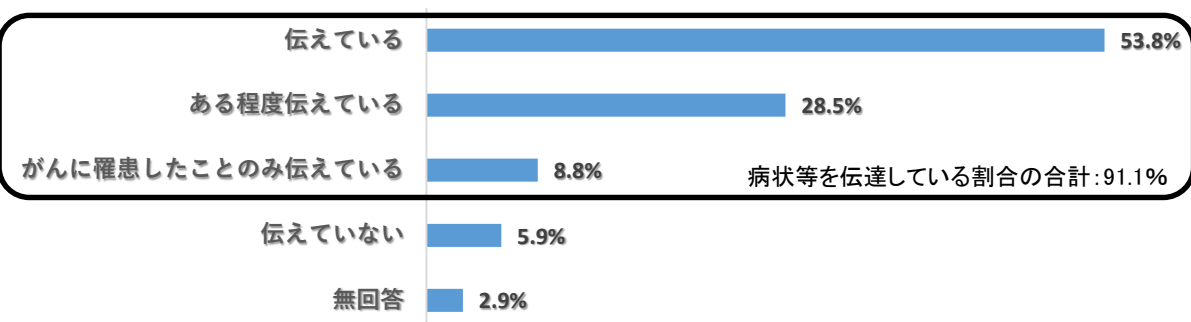
◆患者の就労状況や就労継続に関する意向の確認を「多くの医師が行っていると思う」と回答した病院は約6割あった。一方、「行っていない医師が多いと思う」と回答した病院は約3割であった。

⑥ 【病院調査】 患者の職場からの職務内容等の情報の入手状況 N=54



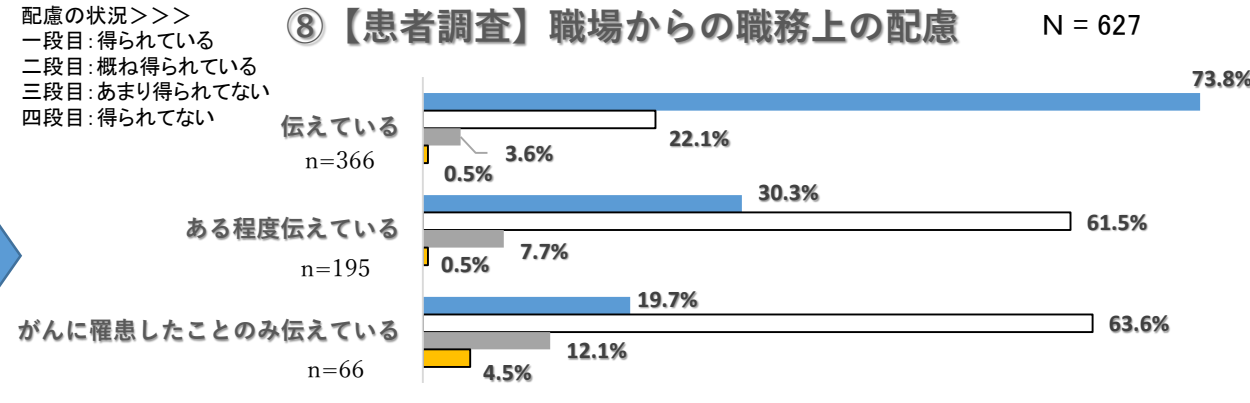
◆患者の職場からの情報入手状況は「多くの医師が得られていると思う」が約2割であった。一方、「得られていない医師が多いと思う」「得られていないと思う」と回答した病院は合わせて約6割であった。

⑦ 【患者調査】 病状等の職場への伝達状況 N = 691



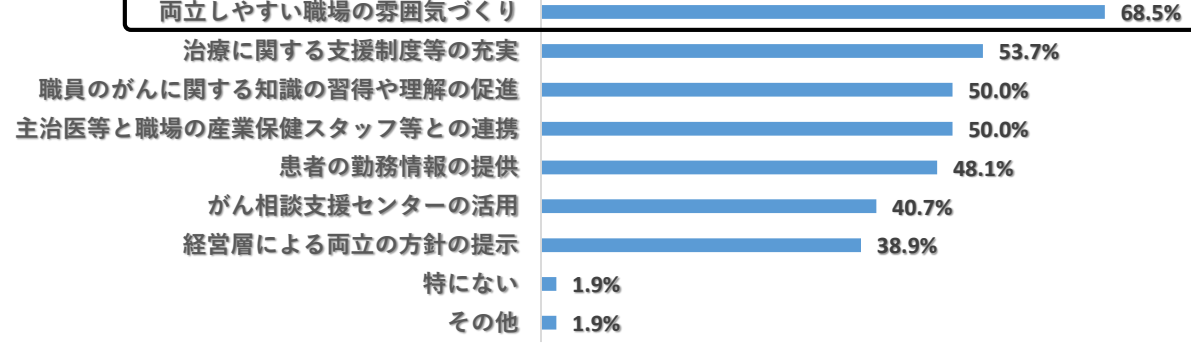
◆病状・治療計画等について患者が職場に伝えている割合は約9割であった。

⑧ 【患者調査】 職場からの職務上の配慮 N = 627



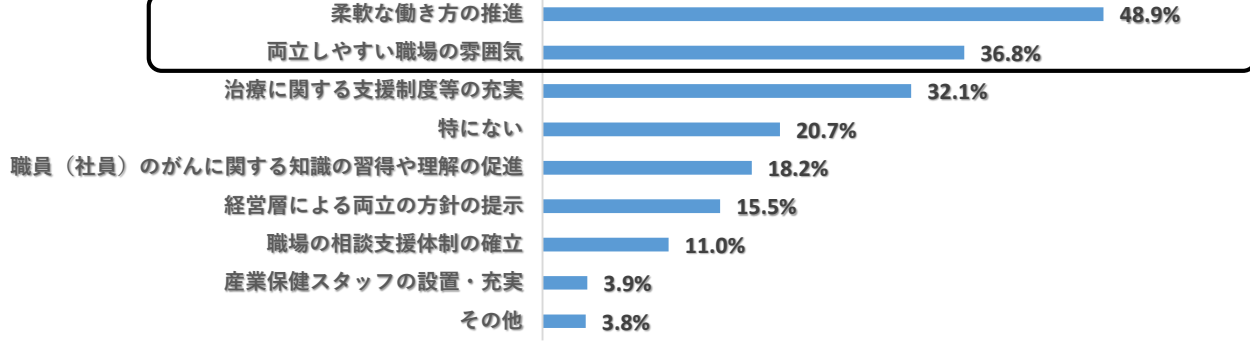
◆病状・治療計画等について、より詳細に職場に伝えている患者の方が（職務上の配慮を）「得られている」と回答した割合が高かった。

⑨ 【病院調査】 両立支援のため、職場に求めること（複数回答） N=54



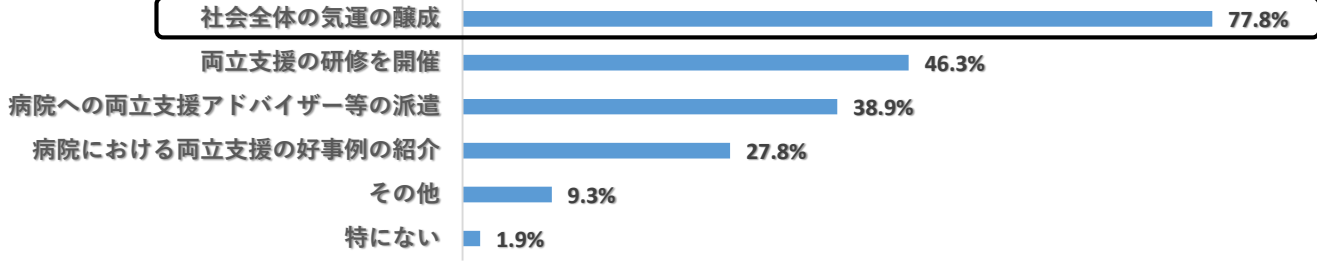
◆病院が患者の両立支援のために、職場に求めることは、“両立しやすい職場の雰囲気づくり”（約7割）が最も多かった。

⑩ 【患者調査】 両立支援のため、職場に求めること（複数回答） N = 691



◆患者が治療と仕事の両立のために、職場に求めることは、“柔軟な働き方の推進”（約5割）、“両立しやすい職場の雰囲気”（約4割）が多かった。

⑪ 【病院調査】 両立支援のため、行政に求めること（複数回答） N=54



◆病院が、患者の治療と仕事の両立支援ために、行政に求めることは、“社会全体の気運の醸成”（約8割）が最も多かった。